

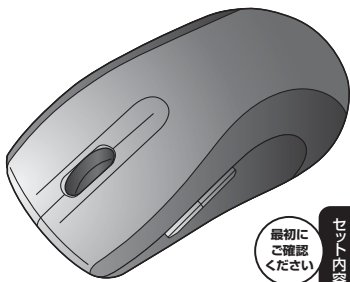


# 充電式ワイヤレスブルーLEDマウス 取扱説明書

MA-WBL20BK

MA-WBL20 BK マウス本体  
R 003-120075

MA-WBL20RC BK レシーバー  
R 003-120110



最初に  
ご確認ください

- マウス本体 ..... 1台
- レシーバー一体型充電器 ... 1台
- 単四充電電池 ..... 2本
- 取扱説明書(本書) ..... 1部

本取扱説明書の内容は、予告なしに変更になる場合があります。最新の情報は、弊社WEBサイト(<http://www.sanwa.co.jp/>)をご覧ください。

デザイン及び仕様については改良のため予告なしに変更することがございます。本書に記載の社名及び製品名は各社の商標又は登録商標です。

サンワサプライ株式会社

## 目次

- はじめに
- 健康に関する注意
- 警告
- 対応機種・対応OS
- 接続手順
- 特長
- 各部の名称とはたらき
- マウスの準備(電池の入れ方)
- パソコンへの接続(Windows)
- パソコンへの接続(Mac OS)
- 「故障かな…」と思ったら
- オンライン製品サポート
- 保証規定

## 1.はじめに

この度は、充電式ワイヤレスブルーLEDマウス(以降「本製品」といいます)をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。本製品をご使用前にこの取扱説明書をよくお読みください。また、お手元に置き、いつでも確認できるようにしておいてください。

## 2.健康に関する注意

マウスやトラックボール、キーボードを長時間操作すると、手や腕や首、肩などに負担が掛かり痛みや痺れを感じることがあります。そのまま操作を繰り返していると、場合によっては深刻な障害を引き起こす恐れがあります。マウスやキーボードを操作中に身体に痛みや痺れを感じたら、直ちに操作を中止し、場合によっては医師に相談してください。また日常のコンピュータ操作では定期的な休憩を取り、手や腕や首、肩など身体に負担が掛からないように心がけてください。

## 3.警告

■テレビ・ラジオの受信障害について  
本製品は、FCCの定めるクラスBのコンピュータ機器に対する許容条件につき、所定の審査の上、FCC-15章の規定内容に適合するものとして認定されています。FCC-15章は居住環境において防止すべき受信障害の規制基準を定めたものですが、設置の設置状況によっては受信障害が発生する場合があります。ご使用のコンピュータシステムが受信障害の原因となっているかどうかは、そのシステムの電源を切ることでご確認いただけます。電源を切ることにより受信障害が解消されれば、ご利用のコンピュータ、あるいは、その周辺装置が原因であると考えられます。

ご使用のコンピュータシステムがテレビ・ラジオの受信状態に影響している場合、以下の手順のいずれか、あるいはいくつかを合わせてお試しください。

- テレビまたはラジオのアンテナの向きを変え、受信障害の発生しない位置を探してみてください。
- テレビまたはラジオから離れた場所にコンピュータを設定し直してください。
- テレビまたはラジオとは別の電源供給路にあるコンセントにコンピュータを接続してください。
- 状況に応じ、テレビ・ラジオの修理業者またはマウスの販売店にもご相談いただけます。

■注意  
本製品に対し許可しない変更または加工が加えられた場合、FCCの許可が無効となり、正規の製品としての使用は認められませんのでご注意ください。

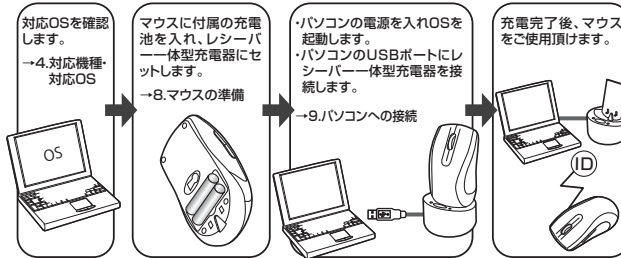
## 4.対応機種・対応OS

■対応機種  
●Windows搭載(DOS/V)パソコン  
●Apple Macシリーズ  
※USBポート(Aタイプコネクタ)を持つ機種。  
※Macシリーズでは、サイドボタンは使用できません。

■対応OS  
●Windows 7・Vista・XP・2000  
●Mac OS X(10.2以降)  
※Mac OS X(10.3以降)は、標準インストールされているSafari、Mail、テキストエディット及びFinderなど、OS標準ドライバでスクロール可能なアプリケーションのみでスクロール可能です。またホイールボタンをクリックすることによる動作はサポートしません。  
※機種により対応できないものもあります。  
※この文章中に記載されるその他の製品名などは、それぞれのメーカーの登録商標、商標です。

## 5.接続手順

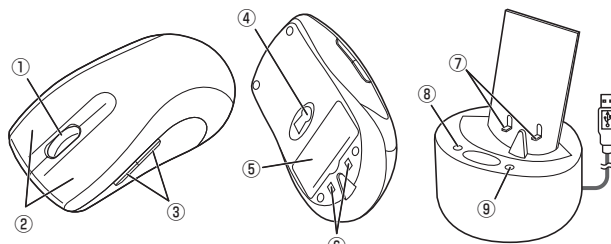
詳細は各項目をご覧ください。



## 6.特長

本製品は2.4GHz RF方式のワイヤレスマウスですので、入力操作の際ケーブルが邪魔になるといった煩わしさもなく、快適な環境でのコンピュータ操作が可能となります。本製品は、マウスをレシーバー一体型充電器に置くだけで充電開始します。煩わしい電池交換が不要です。本製品は、ブルーLEDセンサー方式で、高い読取性能を実現し、光沢感のあるデスク面でもマウスパッドなしでスムーズな操作感を実現します。本製品は、サイドにも2ボタンを搭載しており、Webブラウザで「戻る・進む」の操作がスピーディーに行えます。※ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みください。また、お手元に置き、いつでも確認できるようにしておいてください。

## 7.各部の名称とはたらき



①ホイール(スクロール)ボタン ..... インターネットやWindows上のドキュメント画面をスクロールさせる際、このホイールを前後に回転させて上下スクロールを可能にします。

■スクロールモード ..... インターネットやWindows上のドキュメント画面でスクロールモードを使用する際、このボタンをクリックしマウスを前後左右に少し動かすと自動的に画面がスクロールします。このスクロールを止めるには、ホイールボタンをもう一度押してください。

■ズーム ..... ズームはMicrosoft IntelliMouseの通常機能ですので、MS-OFFICE用のアプリケーションに対応しています。「ズーム」とはウィンドウ内の倍率を変えることです。「Ctrl」キーを押しながらホイールを回転させると、ズームが簡単に行えます。  
●「Ctrl」キーを押しながらホイールをモニター方向に回転させると、倍率が上がります。  
●「Ctrl」キーを押しながらホイールを手前方向に回転させると、倍率が下がります。

②左ボタン・右ボタン ..... 左ボタンは通常クリック、ダブルクリックに使われます。また右ボタンはWindowsでのアプリケーションごとに設定されているマウスの動きも実行しますし、またポップアップメニューの表示も行うことができます。

③戻るボタン・進むボタン ..... Webブラウザで「戻る・進む」の操作がスピーディーに行えます。(Windowsのみ)

④ブルーLEDセンサー ..... 光沢感のあるデスク面でもマウスパッドなしでスムーズな操作感を実現します。

⑤電池カバー ..... このカバーを外して、電池を入れます。

⑥充電用端子 ..... マウス本体側の充電用端子です。レシーバー一体型充電器側の充電用端子と接続して充電します。

⑦充電用端子 ..... レシーバー一体型充電器側の充電用端子です。マウス本体側の充電用端子と接続して充電します。

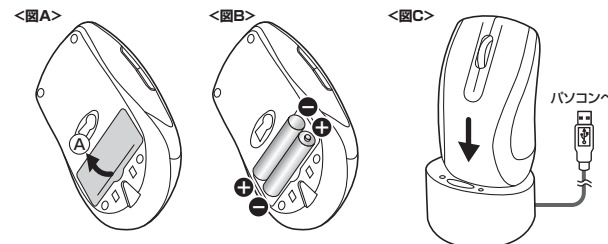
⑧接続表示LED ..... ●USB認識中(充電器をパソコンに接続した際) : 緑色に点滅(20回)  
●マウスの接続完了(USB認識後) : 緑色に点灯  
●マウス動作中 : 緑色に点滅

⑨充電表示LED ..... ●充電開始 : 赤色に点滅(1回)  
●充電中 : 赤色に点灯  
●充電終了前 : 赤色に点滅  
●充電完了後 : 消灯  
※充電時間は約7時間です。

## 8.マウスの準備(電池の入れ方)

1. マウス裏面の電池カバーを上(A方向)に持ち上げ、取外します。<図A>
2. 付属の単四充電電池をマウスに入れます。※正しい極性で入れてください。<図B>
3. 電池カバーを、取外したときと逆の手順で閉じます。
4. 充電の際はマウスをレシーバー一体型充電器にセットします。<図C>

▲注意  
電池は必ず付属の充電電池をお使いください。通常のアルカリ電池・マンガン電池を使用して充電を行うとマウスおよび充電器等が壊れます。



## 9. パソコンへの接続 (Windows)

### ■本製品をUSBポート接続する際の注意 (Windowsの場合)

本製品はWindowsにおいて自動認識され、使用可能となります。まず初めにUSBインターフェースが正常に動作しているかどうかをチェックしてください。

「スタート」→「設定(S)」→「コントロールパネル(C)」→「システム」の順に選択し、「デバイスマネージャ」タブをクリックしてください。「ユニバーサルシリアルバスコントローラ」をチェックしてください。下の画面が表示されます。



これはUSBインターフェースの正常な動作状況です。USBデバイスアイコンに「!」マークが表示されていたり、または「ユニバーサルシリアルバスコントローラ」のデバイスがないも見つからない場合、マザーボードのBIOSをアップグレードしたり、BIOS設定を確認してください。一部の機種ではデフォルトの状態ではUSBポートの使用が不可に設定されています。また「ユニバーサルシリアルバスコントローラ」のペンタマー名、デバイス名はマザーボードによって異なることがありますので、インテル社以外の記述の際にもありますので、本体(マザーボード)メーカーにサポートしてもらってください。

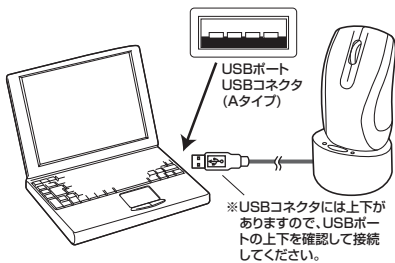
### ■BIOS上でUSBがdisableディセーブル(無効)になっている場合 (Windowsの場合)

●BIOS上のUSBをenable(有効)にしてください。通常BIOSの設定はコンピュータ起動時にF1かF2を押すものが多いですが詳細な設定については、パソコン本体の取扱説明書をご覧ください。

### ■レシーバー一体型充電器を接続 (Windowsの場合)

※注意:レシーバー一体型充電器を接続する前に他のアプリケーション(ウイルス検索ソフトなどの常驻ファイル)を終了させておくことをお薦めします。

- 1) パソコンの電源を入れ、Windowsを完全に起動します。
- 2) レシーバー一体型充電器のUSBケーブルをコンピュータのUSBポートに接続します。



※同時にマウスの充電が開始されます。

③自動的にハードウェアの検知が始まり、デバイスドライバを更新するためのウィザードが起動します。

(Windows 7の場合)  
タスクバーに「デバイスドライバソフトウェアをインストールしています。」  
「USB入力デバイス」と表示されて、自動的にインストールが完了します。

(Windows Vistaの場合)  
タスクバーに「デバイスドライバソフトウェアをインストールしています。」  
「USBヒューマンインターフェイスデバイス」と表示されて、自動的にインストールが完了します。

(Windows XP・2000の場合)  
タスクバーに「新しいハードウェアが見つかりました。」  
「使用できる準備ができました。」と表示されて、自動的にインストールが完了します。



④マウスの充電が完了すると、使用可能になります。

## 10. パソコンへの接続 (Mac OS)

Mac OS X(10.3以降)は、標準インストールされているSafari、Mail、テキストエディット及びFinderなど、OS標準ドライバでスクロール可能なアプリケーションのみでスクロール可能です。またホイールボタンのクリックによる動作はサポートしません。

- 1) パソコンの電源を入れ、Mac OS Xを完全に起動します。
  - 2) レシーバー一体型充電器をパソコンのUSBポートに接続します。
  - 3) ハードウェアの検知が始まり、自動的にインストールが完了します。
- ※同時にマウスの充電が開始されます。
- ④マウスの充電が完了すると、使用可能になります。
- ※Macシリーズでは、サイドボタンをご使用いただけません。
- ※Macシリーズでは、レシーバー一体型USB充電器を接続したままスリープを実行しても、Mac本体はスリープには入れません。

## 11. 「故障かな…」と思ったら

### Q. マウス(マウスソール)が動かない。

1. マウスに付属の充電電池が正しく挿入されているか確認してください。(「B. マウスの準備(電池の入れ方)」参照)
2. レシーバー一体型充電器が正しくUSBポートに接続されているか確認してください。(「9. パソコンへの接続(Windows)」)、「10. パソコンへの接続(Mac OS)」参照)
3. 充電電池の残量が少なくなっているかもしれません。マウスをレシーバー一体型充電器にセットして充電を行ってください。

### Q. マウスをしばらく操作しないと、動き始めた際に少し時間がかかる。

1. 本製品は、電池の消耗を抑えるため、しばらくマウス操作を行わないとスリープモードに入ります。マウスを復帰させたい場合は、右ボタンや左ボタンをクリックしてください。

### Q. マウスカーソルやスクロールの動きがスムーズでない。

1. 光を反射する素材、ガラスなどの透明な素材の上や、規則正しいパターンの上でご利用の際は、トラッキング性能が低下する場合がありますので、避けてください。
2. 金属面の上では、ワイヤレス信号が乱反射し、スムーズに動かない場合がありますので、厚みのある雑誌やマウスパッド等の上でご利用になってみてください。

### Q. Internet Explorerでスクロールがスムーズに動かない。

1. Internet Explorerを起動し、「ツール」→「インターネットオプション」→「詳細設定」で「スムーズスクロールを使用する」のチェックをはずしてください。

### Q. Windowsのディスプレイモードに出ているツールカラーを選択するとスクロールの動きがおかしくなった。

1. ハイカラーモードを選択してください。
2. ツールハイカラーでは、CPUからデータを伝えるのに時間がかかります。このため、スピードコントロールの動きが遅くなります。

## 12. オンライン製品サポート

お問い合わせは弊社WEBサイト (<http://www.sanwa.co.jp/>)より「サポート」→「お問い合わせ窓口一覧」→「製品について」→「マウス」のリンクをたどり、WEBでのお問い合わせ「入力フォームはこちら」に必要事項を記入して送信してください。



## 13. 保証規定

- 1) 保証期間内に正常な使用状態でご利用の場合に限り品質を保証しております。万一保証期間内で故障がありました場合は、弊社所定の方法で無償修理いたしますので、保証書を製品に添えてお買い上げの販売店までお持ちください。
- 2) 次のような場合は保証期間内でも有償修理になります。
  - ① 保証書をご提示いただけない場合。
  - ② 所定の項目をご記入いただけない場合、あるいは字句を書き換えられた場合。
  - ③ 故障の原因が取扱上の不注意による場合。
  - ④ 故障の原因がお客様による輸送・移動中の衝撃による場合。
  - ⑤ 天変地異、ならびに公害や異常電圧その他の外部要因による故障及び損傷。
- 3) お客様自身による改造または修理があったと判断された場合は、保証期間内での修理も受けいたしかねます。
- 4) 本製品の故障、またはその使用によって生じた直接、間接の損害については弊社はその責を負わないものとします。
- 5) 本製品を使用中に発生したデータやプログラムの消失、または破損についての保証はいたしかねます。
- 6) 本製品は医療機器、原子力設備や機器、航空宇宙機器、輸送設備や機器などの人命に関わる設備や機器、及び高度な信頼性を必要とする設備や機器やシステムなどへの組み込みや使用は意図されておりません。これらの用途に本製品を使用され、人身事故、社会的障害などが生じても弊社はいかなる責任も負いかねます。
- 7) 修理ご依頼品を郵送、またはご持参される場合の諸費用は、お客様のご負担となります。
- 8) 保証書は再発行いたしませんので、大切に保管してください。
- 9) 保証書は日本国内においてのみ有効です。

※保証書ラベルを貼付し大切に保管してください。

保証書ラベル貼付欄

最新の情報はWEBサイトで!! <http://www.sanwa.co.jp/>

- サポート情報
- よくある質問(Q&A)
- ドライバのダウンロード
- 各種対応表 など、最新情報を随時更新しています。

### ▼トップページから



### ▼サポートページへ



各情報ページを直接ご覧いただくこともできます。

ご質問、ご不明な点などがありましたら、ぜひ一度弊社WEBサイトをご覧ください。

## サンワサプライ株式会社

2013.02現在

岡山サブライセンター/〒700-0825 岡山県岡山市北区田町1-10-1 TEL.086-223-3311 FAX.086-223-5123  
東京サブライセンター/〒140-8566 東京都品川区南大井6-5-8 TEL.03-5763-0011 FAX.03-5763-0033  
札幌営業所/〒060-0807 札幌市北区北7条西5丁目5-10 TEL.011-611-3450 FAX.011-716-8990  
仙台営業所/〒983-0851 仙台市宮城野区権町1-6-37 TEL.022-257-4638 FAX.022-257-4633  
名古屋営業所/〒453-0015 名古屋市中村区椿町1-6-7 TEL.052-453-2031 FAX.052-453-2033  
大阪営業所/〒532-0003 大阪市淀川区宮原4-1-45 TEL.06-6395-5310 FAX.06-6395-5315  
福岡営業所/〒812-0012 福岡市博多区博多駅前2-8-20 TEL.092-471-6721 FAX.092-471-8078

13/02/KYDaNo